

1月17日（木）、3年生が火起こし体験をしました。社会科の学習単元「倉敷市にのこる昔とくらしのうつりかわり」の一環で、体験学習に取り組みました。七輪を使ってマッチすりから紙に火をつけ炭に着火させるのは、ほとんどの児童にとって初体験！煙にむせながらも協力して楽しく火を起こし、もちを焼いておいしくいただきました。風呂焚きといえは子どもの仕事だったことを懐かしく思い出しました。

